

訓蒙修身書

田村初太郎校閱
福田宇中編纂
十

Z72
388

大日本教育會藏書			
一 二 冊	三 號	一 架	一 八 函

K1101
184
10

明治十五年四月開雕

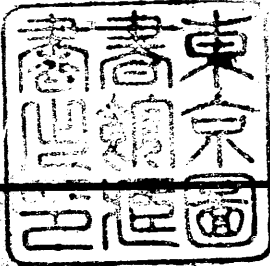
訓蒙濟身書

積善館藏梓

訓蒙修身書第十

緒言

此編ハ朋友、孝行、愛敬、節儉、仁愛、敬老、勸學、
七章トナス。是第五年後期生徒ノ
為ニ設ケシモノナリ



明治十四年十二月

編者識

訓蒙修身書第十

田村初太郎校閱
林 和太郎訂正
福田宇 中編纂

第一章 朋友

親愛 扶持
品價 優等
管治

○朋友ノ交リハ、互ニ親愛シテ、相扶持スルニ在リ、蓋之ヲ行フハ、天意ト人情トヨリ出ル所ナリ、
○人ノ品價ハ、常ニ其朋友ノ品價ノ優等ナル者ニ、管治セラレ、
○朋友ニ親愛情義ヲ盡スヲ指シテ、徳トイフ、

セント、トーマス氏

○人ノ不善ナルヲ論シ、其朋友ノ交ヲ知ラザルヲ以テ、失ノ大ナルモノトセリ、

善友 幸福 ○人ノ善友アルハ、一美事トス、蓋善友ハ我幸福ヲ増シ、我不幸ナルトキハ、我ヲ扶クルノ益アリ、

智識 避 ○人ハ朋友ヲ求ムルニ、正直有徳ニシテ、智識アル者ヲ以テシ、不善ノ交ヲ避ルヲ以テ務トスベシ、

危窮之 難乏

○朋友ノ窮乏ナル時ハ、之ヲ扶ケ、朋友ノ危難ニ陥ントスルトキハ、之ヲ救フベシ、之ヲ朋友間ノ

義務

義務ト云フ、

○請フ君吾ニ告グルニ、汝ノ友ヲ以テセヨ、吾乃チ汝ノ何人タルヲ汝ニ語ラン、 西班牙國諺

貴重 ○朋友ハ、人間ノ貴重スベキモノニシテ、之ヲ除ケバ、他ニ畢生ノ幸福ヲ輔成スベキ者少ナシ、故ニ衆ト苦樂ヲ共ニシテ、己ガ喜ビハ他人ニ分チ、他人ノ憂ヒハ、之ヲ己ニ分ツベシ、

卑陋 獨處 ○卑陋ナル人ヲ以テ、朋友トナサンヨリ、寧口間居獨處ヲ以テ、愈レリト為ス、

廣澤 武庸

○細井廣澤ハ、赤穂ノ臣、堀部武庸ト友、誼尤モ厚

良雄 襲竊 鷄卵

齋 碎 敵 讎

絕句 宴畢 交誼

婢僕 寢

シ、大石良雄等四十六人、吉良氏ヲ襲ノ前夜堀内源
太左衛門ノ家ニ會セシガ、廣澤竊カニ鷄卵數十
個ヲ齋ラシ、武庸等數人ト盃ヲ傾ケリ、武庸鷄卵
ヲ地上ニ投ジ、碎キテ云ク、明夜敵讎ヲ破ルモ亦
此ノ如クスベシト、廣澤其辭ヲ壯ナリトシテ、一
絶句ヲ賦セリ、宴畢リテ武庸其交誼ノ厚キヲ謝
シ、共ニ涙ヲ拭ヒテ別レリ、廣澤家ニ歸リ、武庸等
其志ヲ遂ゲザランコトヲ念ヒ、巳ム能ハズ、其明
夜二更ヨリ四更ニ至ルマデ屋上ニ登リ見ルコ
ト數回ナリシモ、婢僕等皆寢ニ就キテ、知ルモノ

凄涼 寒氣

鷄鳴

復讎

焚燒 覺悟

宿志 高輪 菩提 交誼

ナシ、時二十二月十四日ナリ、月輝凄涼ニシテ、寒
氣殊ニ甚シ、妻某氏眠ヲ覺シテ、怪ニ問フニ、廣澤
ハ只天象ヲ候フノミト答ヘ、燈下ニ書ヲ讀ミ、鷄
鳴ノ頃始テ寢ニ就キシトイフ、曾テ武庸廣澤ニ
告ゲテ曰ク、復讎ノコト若シ遂ゲザレバ、吉良氏
ノ邸ヲ焚燒シ、四十六人齊シク自殺スル、覺悟ナ
リト、曉ニ及ビ門戸ヲ叩ク者アリ、廣澤遽カニ起
テ、之ヲ迎フルニ、武庸全身血ニ塗レ、高聲ニテ宿
志既ニ遂ゲタリ、同志ノ士是ヨリ高輪ノ菩提院
ニ赴カントス、厚ク平常ノ交誼ヲ謝ストイヒ、直

袴着
既足

面識

狄傑
鄭崇質

二辭シ去レリ、廣澤袴ヲ着ケ、刀ヲ佩ブルニ暇ナク、既足ニテ跡ヲ追ヒ、永代橋ニ至レバ、四十六士橋ヲ過ルコト方ニ半バナリ、是ニ於テ、武庸及ビ曾テ面識アル所ノ士五人ト、訣別シテ歸レリ、
○狄仁傑トイフ人ハ、唐ノ并州大原ノ人ナリ、朝ニ仕ヘ、法曹參軍トナル、時ニ友人ノ鄭崇質トイフ人ハ、命ヲ受ケテ、遠方ニ使セントス、仁傑ユレニ謂ルニ、足下一人ノ老母アルアツテ、今病ニ卧セリ、然ルニ遠方ニ使センコト、我之ヲ視ルニ忍ビス、我足下ニ代リテ、此命ヲ奉ゼント、乃上書シ

使命

端木賜

芝蘭

テ崇質ニ代リテ、使命ヲ奉ゼリト、
○孔子ノ門人ニ、ト商及ビ端木賜ノ二人アリ、孔子常ニ之ニ語りテ曰ク、吾死スルノ後、商ハ日ニ益ヲ得テ、賜ハ日ニ損ヲ招クナラント、曾子之ヲ聞テ、何ノ故ナリヤト問ヒシニ、孔子答ヘテ曰ク、商ハ已レニ賢ルモノト居ルコトヲ好ミ、賜ハ已レニ若カザルモノト居ルコトヲ好ムヲ以テナリ、其人ヲ知ラザレバ、其友ヲ視テ知ルヲ得ベシ、此故ニ善人ト居レバ、芝蘭ノ室ニ入ルガ如ク、久シテ其香ヲ覺ヘズ、乃チ自然之レニ化ス、不善人ト

鮑魚肆

居レバ、鮑魚ノ肆ニ入ルガ如ク、久シテ其臭ヲ覺ヘズ、是亦自ラ之ニ化ス、丹ヲ藏ムル所ノ器ハ赤漆ヲ藏ムル所ノ器ハ黒シ、是君子ノ共ニ居ル所ノ者ヲ、慎ミ擇フ所以ナリト、懇口ニ曾子ニ教ヘケルトナシ、

○古シラキ

國王デニース其學士ダモンヲ

死就

死刑ニ處セントセシトキダモンハ死ニ就ク前

處置

家族ニ別ヲ告ゲ、且家事ヲ處置スベキ為メ、期日

猶豫

ヲ定メ、猶豫ヲ得テ、其家ニ至ランコトヲ乞ヘリ、

其友ニピチアストイフ者アリシガ、保人トナリ

獄吏

テ、若シダモンノ獄ニ歸リ來ラザルコトアラバ、自カラ代テ刑ニ就クベキコトヲ獄吏ニ約セリ、然ルニ、ダモンハ期日ニ至リ、果シテ其言ノ如ク、獄

從容

ニ歸リ來リ、自カラ囚レニ就キテ、從容死ニ處セ

交誼

ラレンコトヲ乞ヘリ、國王デニース此事ヲ聞キ、朋友交誼ノ厚キニ感ジ、ダモンノ罪ヲ赦シ、剩ヘ

自カラ兩士ト交リヲ結バンコトヲ求メシトゾ
○爰ニ五人ノ兄弟アリ、其父飲酒ノ為メニ家産ヲ失ヒ、妻子ニ離レシガ、四人ノ子ハ皆相當ニ暮ラシ、季子一人ノミ母ト共ニ、叔父ノ許ニ養ハレ、

性温順

番頭

忠誠

勉勵

信任

僅ニ其日ヲ送リタリ、然ルニ、兄弟ハ次第ニ零落
シテ、母ハ只此一子ヲ頼ミトシテ、行末ヲ樂ミ居
シニ、其甲斐アツテ、末子ハ性質温順ニシテ、行正
シカリケレバ、幼クシテ、學校へ通ヒシ頃ヨリ、衆
人ニ愛セラレ、年漸ク長ジテ、商家ノ番頭トナリ
シニ、正直忠誠ニシテ、商業ニ勉勵セシカバ、大ヒ
ニ雇主ノ信任ヲ得テ、朋友モ皆彼ヲ愛シ、市中第
一ノ番頭ナリト評セラレタリ、斯テ數年ヲ經シ
ニ、偶一少年ヲ友トシ、酒ヲ飲ミシニ、始ノ程ハ人
ニ隱シテ、誰モ知ルモノナカリシガ、次第ニ多ク

雇主

暇

頼網

飲料

舊友

低群
透逸

飲酒スルニ至リ、諸人ノ耳ニ入リ、雇主モ之ヲ聞
キ、大ヒニ怒リテ、暇ヲ出セリ、不幸ノ母モ今ハ頼
ノ網キレテ、イトゞ心ヲ悩ノシカド、愈飲酒ニ耽
リテ、日々勞シテ、得ル所ノ金ヲ飲料ニ供スルノ
外ナキニ至レリ、數年ノ後、其舊友ノ某オスウエ
ゴト云フ、都府ニ商店ヲ開キシガ、或日商用モ大
抵濟ミシ頃、門前俄カニ喧シケレバ、何事ナラン
ト、門口ニ出デ見レバ、一人ノ男子、痛ク酒ニ酔ヒ、
一步ハ高ク、一步ハ低ク、透逸ノキ進ムヲ群ル童
子ハ、面白キコトニ思ヒ、嘲リ笑ヒケルヲ、商人ハ

州家參事書 卷之十 六

嚴
好評
醉醒
懇

嘲笑
豈歎

嚴云カ戒ス之ヲ逐ヒ退ソケテ、彼男子ヲ見レバ、
曾テ知ル所ノ、好評ヲ得シ者ナレバ、大ニ驚キ直
ニ、我家ニ連レ歸リ、醉ノ醒ルヲ待チテ、懇ニ忠告
セシガ、遂ニ其効ナクシテ、改良セザリシトナシ、
大都ノ中ニ雙ブモノナキ、忠良ノ人ニシテ、衆人
後來ニ望ヲ屬セシモ、一旦惡友ニ交リテヨリ、遂
ニ下等ノ人トナリ、斯ク嘲笑ヲ招クニ至レリ、豈
歎カハシキコトナラズヤ、

第二章 孝行

○孝子ノ親ヲ愛スルヤ、必ズ和氣アリ、和氣アル

怡色
婉容

モノハ、必ズ怡色アリ、怡色アルモノハ、必ズ婉容
アリ、古語

相聚
亂
送致
睡覺
號泣
梟首
幼弱
諭

○一太郎ハ、阿波國三好郡重清村ノ人ナリ、父ヲ
與一ト云フ、時凶年ニ會ヒ、村民相聚リ亂ヲナセ
リ、與一モ亦其黨ナレバ、夜中捕ハレテ、徳島ニ送
致セラレタリ、一太郎睡覺テ、大ニ驚キ、之ヲ追ヒ
テ、徳島ニ至リ、日夜號泣シ、己ノ身ヲ以テ、父ニ代
ラント乞ヘリ、既ニシテ與一ノ罪梟首ニ決シ、官
吏一太郎ノ幼弱ヲ憐ミ、錢ヲ與ヘ、諭シテ家ニ歸
ラシメケリ、一太郎己ムコトヲ得ズ、道程十二里

讚岐 琴平 蜂須賀 國境 孤島 護送 時齡 巖穴 迸飛 噴出 破境 近街 村落 覆壓

ヨ一日ニシテ歸リ、讚岐ニ赴キ、琴平神社ニ祈ル
コト凡七回、其往返八里餘ナリ、國主蜂須賀侯之
ヲ聞キ、與一ノ死一等ヲ減ジ、之ヲ國境ノ孤島ニ
流シ、一太郎ヲ召シ、金五兩ヲ賜ヒ、吏二人ヲシテ、
之ヲ郷里ニ護送セシメシガ、日ナラズ、一太郎父
ヲ慕フテ、其島ニ赴キタリ、時齡十歳ナリ、
○火山ハ、時々巖穴ヨリ、岩石ヲ迸飛シ、火烟
ヲ噴出スルコトアリ、數百年前シ、リノエト
ナ山破烈セシトキ、近境ノ市街村落盡ク覆壓セ
リ、居民ハ皆此難ヲ避ケント云、貨財ヲ負擔シテ、

財貨 贊美 災害 鎮還 壊敗 稀異 田畑 草木 驚嘆 孝感

四方ニ遁レ去レリ、アナヒアスアムヒノモスノ
兄弟ハ、父母ニ孝ニシテ、財貨ヲ顧ミルニ違ナク、
各父母ヲ負ヒテ、遁レケレバ、人見テ贊美セザル
モノナシ、災害鎮リテ後、還リ見レバ、家屋押ナヘ
テ壊敗セシニ、稀異ナル哉、彼兄弟ノ通行シテ、逃
レタル所ノ田畑草木ハ、天災ヲ免レ、依然トシテ
存在セリ、衆皆驚嘆シテ、是レ孝感ノ致セシ所ナ
ラント、此地ヲ孝郷ト稱シテ、今ニ至ルマデ美名
ヲ遺セリ、

第三章 愛敬

真意相愛

畢生繼存

愛情

過失

竊隱諱

愛敬

○兄弟姊妹ハ、真意ヲ以テ、互ニ相愛スベク、而シテ、其兄弟姊妹ノ互ニ相愛スル情ハ、固ト自ラ然ラシムル所ニ出テ、其原由ハ、互ニ同一ノ家ニ養育ヲ受タルト、其父母ヲ同ウスルトニ因ル、勸善訓蒙

○兄弟姊妹、相愛スルノ情ハ、畢生間繼存ス可キモノナレバ、互ニ其父母ノ家ヲ去リ、其居ヲ異ニスルノ後ト雖モ、其愛情ヲ失フベカラズ、同上

○兄弟ハ過失アリトモ、互ニ慎ンデ、之ヲ隱諱シ、竊ニ忠告シテ、之ヲ正スベシ、

○兄弟ノ愛敬トハ、譬ヘバ、兄ハ弟ヲ愛スレドモ、

嚴寒

跡絶

扉火

頽敗

餘薪

弟兄ヲ敬セザルトキニ、兄喜バズシテ、又弟ヲ愛セザルハ道ニアラズ、弟ハ兄ヲ敬スレドモ、兄ハ弟ヲ愛セザルトキニ、弟喜バズシテ、又兄ヲ敬セザルハ道ニアラズ、唯我ハ我一分ノ道ヲ盡シテ、人ノ惡キヲ學ブコトナカレ、

○嚴寒ノ候、白雪山野ヲ埋ミ、行人跡ヲ絶チ、闔村ノ人家、皆戸ヲ閉ヂ、扉ヲ掩フテ、爐火ニ暖ヲ取り、寒ヲ防ゲリ、茲ニミシエール及ビカテリノストイフ、貧シキ夫婦アリ、其家頽敗シテ、風雪戸隙ヨリ入り、爐火已ニ消ヘ、餘薪モ亦盡ントス、三児ア

温和
善良

積雪

枝葉
拾取

暮迫

滿路
暫時
疲勞
凍餒
幼弱
困苦

リ長ヲシエルルトイヒ齡十歳次ヲシヤ
ルトイヒ齡八歳季フレデリツクハ未夕六歳ニ
滿タズ三児皆温和善良ニシテ父母ノ嚴寒ニ苦
シムヲ見テ相語リ曰ク余等山林ニ入り枯枝ヲ
拾ヒ得テ薪ニ充ント三児相携ヘ積雪ヲ踏ミ深
林ニ至リ枝葉ヲ拾収セリ時ニ風雪益甚シク暮
ニ迫ルヲ見テ三児ハ急ニ枝葉ヲ束子家ニ歸ラ
ントシタレト滿路ノ積雪ニ步行ヲ妨ゲラレ暫
時ノ間ニ皆疲勞凍餒シ幼弱ナルフレデリツク
ハ既ニ歩ムコト能ハズ三児困苦ヲ窮メ各叫ビ

返響

脱履

幾回

懇意

救難
横卧

テ救ヒヲ呼ベドモ唯應ズルモノハ林木ノ返響
ノミシエールハフレデリツクノ凍ヘタルヲ温
メント已ガ衣ヲ脱シテ之ヲ覆且シヤールヲ
勸サント種々心ヲ碎キタリ此際父母ハ三児ノ
歸ラザルヲ痛ミ幾回トナク扉ヲ開ラキ見テ其
名ヲ呼ベト唯晚風音ノミ日既ニ暮レ父母ハ懇
意ナル村人ト共ニ山林ニ入り遂ニ三児ニ逢ヒ
ケルガフレデリツクハ殆ント凍死セントシタ
ルヲミシエールハ其衣ヲ脱シテ之ヲ覆ヘドモ
尚其救ヒ難キヲ見テ更ニ其體上ニ横卧シ之ヲ

言夢仙身言
卷三十一

防禦 掩フテ、風雪ヲ防禦シ居タリ、人々三児ヲ抱キテ
其家ニ歸リタリト、

近傍 ○蘇格蘭ノダムブリーノ近傍ニ住ミテ、常ニ人
ノ為ニ雇ハレ、耕耘シテ其日ヲ送レル、ヘレンヲ
職業 書讀
ルガルトイヘル女ハ、職業ノ暇ニハ、書ヲ讀ミ、殊
道徳 二道徳ノ心深カリシモノナリ、父母ハ早夕死シ
テ、一人ノ妹アルノミ、ヘレン之ニ衣食ヲ給スル
善良 ノミナラズ、又巴レノ如ク、善良ノ女ヲラシメント、
稟性 最ト深切ニ誨ヘシガ、稟性善ラザルモノニテ、遂
連累 二大罪ヲ犯シタリ、此罪ハ國法ニテ、若シ連累ノ

最愛 虚言
糾問 最ノナケレバ、死罪ニ處セラルベキモノナリ、ヘ
レンハ此事ニ與リシト、訴フルハ易シト雖、
テ知ラザルコトニテ、固ヨリ眞實ノ心深キ女ユ
ヘ、最愛ノ妹ノ一命ヲ助クルコト、イヘドモ、虚
言ヲ吐クニ忍ビズ、裁判官之ヲ呼出シテ、糾問セ
シトキ、毫モ其事ニ與ラザル旨ヲ答ヘタリ、依テ
妹ハ愈死ニ處セラルベキニ、定リタリ、斯テヘレ

遠路 徒歩
哀訴 誠實
ノ遠路ヲ徒歩シ、倫敦ニ行キテ、女王ニ哀訴セシ
カバ、女王モ大ニ其誠實ノ心ニ感ジ、遂ニ妹ノ罪

列女傳卷之十一

ヲ許シタマヘリ、

第四章 節儉

儉約
安靜
基礎
根源

○儉約ハ、安靜ノ基礎ナルノミナラズ、又仁惠ノ根源ナリ、
戎孫氏

辛苦
維持

○父母其家ヲ治ルニ、必ず多少ノ辛苦ヲ嘗メ、節儉ヲ主トシ、維持セラル、モノナレバ、子弟タルモノ、其心ヲ心トシテ、萬事ニ節儉ヲナサザルベカラズ、

衰老
貯

○凡ソ人衰老ノ年、安樂ヲ享ケンガ為メ、自主自由ヲ失ハザランガ為メニ、金錢ヲ貯ヘ、又他人ヲ

存恤
端正

蓄積
福小
吝嗇

着意
深戒

要務
維持
根抵

辱
廉

存恤スルガ為メニ、儉省ヲ務ルハ、端正ノ事ナリ、若シ此ノ如キ為メニスルニ非ズシテ、徒ラニ金錢ヲ蓄積スルハ、其心褊小ニシテ、其所業ヲ吝嗇ト名ケ、賤シムベキコトナリ、サレバ智者ハ固ヨリ、節儉ヲ務ムト雖モ、然レモ自ラ着意シテ、此吝嗇ヲ以テ深戒トナス、
西國立志編

○儉素ヲ治ルハ、人世ノ要務ニシテ、又德行ヲ維持スルノ根抵ナリ、
西諺

○其貪リテ以テ辱ヲ招カンヨリ、儉ニシテ廉ヲ守ルニ若カズ、

論蒙傳身書

卷之十

十一

價虚飾 高誇 高價

○價ノ廉ナリトテ、不用ノ物ヲ買フベカラズ、又虚飾ノ心ヨリシテ、人ニ誇ランガ為メ、高價ノ物ヲ買フベカラズ、

放佚 奢靡 勤勉 游惰 陷

○儉素ニシテ、己ガ分ヲ守レバ、放佚奢靡ナルコトナシ、生産ヲ治メテ勤勉ナレバ、游惰ニ陥ル事ナシ、

浪費 修養 理會

○怠惰ハ、勉強ノ敵ナリ、浪費ハ、節儉ノ敵ナリ、放逸ハ、修養ノ敵ナリ、フレミン氏

○世人富トカトノ二者ヲ、能理會スルモノ少シ、故ニ富ヲ以テカヨリ重キモノト思ヘリ、其實ハ

依頼 麵包 職事 學習

然ラズ、自己ノ力ニ依頼シ、自ラ節儉ヲ守ル、此二者實ニ人ヲシテ自己ノ井水ヲ飲ミ、自己ノ麵包ヲ喫セシメ、人ヲシテ職事ヲ學習シ、及其當サニ為スベキ善事ヲ行ヒ、遂ゲシムルナリ、ロバート・ヘン氏

忠實 正經 生活 私欲 衣服 飲食 家室 願欲 情狀 奴隸

○人ハ忠實正經ナル生活ヲ為スヲ要ス、是ヲ為サンニハ、自ラ治ムルノ勇アリ、自ラ其私欲ニ克ツノ徳アルベシ、然ルトキハ、衣服飲食家室等ニ就テ、其願欲其節儉、自ラ其宜キヲ得ルニ近カルベシ、然ラザレバ、其生ヲ治ムルノ情狀ハ、己レガ私欲ニ徇ヒ、之ガ奴隸トナルヲ免カレズシテ、自

言夢傳
ラ忠實ナラズ、正經ナラザル活計ヲ為スニ至ル
ベシ、西洋品行論

富饒
浪費
鉅萬
○節儉ト勞動トハ、人ニ満足ヲ得セシメ、又往々
富饒ヲ得セシムルノ源ナリ、浪費ト遊情トハ、鉅
萬ノ富ヲ有スル者ヲモ、頓ニ窮乏ニ至ラシムル
ノ源ナリ、勸善訓蒙

時頼
宣時
○北條時頼ハ、自ラ奉ズル儉素ニシテ、食味ヲ二
ツニセズ、偶族父大佛宣時來ルニ會ス、時既ニ深
夜ナリ、時頼一銚ノ酒ヲ手ニシテ、來リ曰ク、獨リ
卿等ト共ニスルノ樂シキニ若ガス、吾一二ノ下

紙燭
殘醬
物ヲ得ント、紙燭ヲ照ラシテ度ニ求ム、碟ニ殘醬
アルヲ觀取テ酒ヲ佐ケタリト、

第五章 仁愛

達德
○仁愛ハ社會ノ達德ニシテ、人間一生ノ幸福ハ
皆是ヨリ生ズ、

○仁惠ノ一錢ハ、法律ノ十錢ニ勝ル、西諺

宗門
一争
抗抵
倫敦
○プロテスタントノ宗門ノ内ニクエーカルト
唱フル一派アリ、此宗派ノ人ハ、他人ト争フコト
ヲ好マズ、或ハ人ニ犯サルレドモ、之ニ抗抵スル
コトナシ、英王チヤアレズ第二世ノ時、倫敦トウ

商渡
船航

海賊 奪船 轉賊 魁賊 船底 勸屋 兩避 眠就 武器 隱器 害死 掌中

工ニスノ間ヲ渡航スル英吉利ノ一商船ノ長某
及其助役ナルトウマスロルチンハ、則共ニ同派
ノ人ナリシガ、或時彼商船、ウニスヨリ英吉利
ニ歸航ノ際、土耳其ノ海賊ノ為メニ奪ハレ、直ニ
船ヲ亞弗利加ノ方ヘ轉ゼラレタリ、翌日ノ夜賊
魁ハ、其徒一二輩ト共ニ、船底ニ眠レリ、時ニ雨甚
シク降リテ、ロルチンハ、殘ル賊徒ヲ勸メテ、部屋
ノ中ニ雨ヲ避ケシメ、賊徒ノ皆眠リニ就クヲ見
テ、賊ノ武器ヲ隱シ、水夫ニ告ゲテ曰ク、最早此賊
ノ死活ハ、我ノ掌中ニ在リ、然レドモ我之ヲ害ス

近邊 驚報 狼狽 淚流 賣却 哀願 容易 承諾 破泊 捕岸 上海 陸道 無逆

ルコトヲ欲セズ、早ク船ヲマジヨルカ島ニ達セ
シムベシト、船ハマジヨルカ島ノ近邊ニ至シ、
見テ賊大ヒニ驚キ、其徒ニ之ヲ報ゼシカ、皆狼狽
シ、淚ヲ流シテ、身ヲ西班牙ノ人ニ賣却セザラン
ト、哀願セシニ、船長及ヒロルチンハ、容易クコ
レヲ承諾セラレタリ、マジヨルカ島ニ碇泊中、他
ノ英吉利船主來ルニ會ヒ、賊ヲ捕ヘシコトヲ語
リ、且身ヲ賣ラズシテ亞非利加ノ海岸ヨリ、上陸
サセント告ゲケレバ、船主ハ大ヒニ笑ヒ、斯ル大
逆無道ノ賊ヲ、何ゾ免スベキヤ、身ヲ賣ラバ一人

刺殺修身書 卷之三 十五

二百金ノ價ヲ得ベシト、説タレ、氏、聽ズシテ曰ク、
 假令マジヨルカ全島ノ地ヲ得ルトモ、賊ノ身ハ
 賣ルコトナサズト、答ヘケル、然ルニ彼船主ハ上
 陸シテ、事ノ次第ヲ流布セシヨリ、西班牙ノ人々
 來テ、船中ニ在ル、海賊ヲ奪ヒ去ラントス、船長及
 ビロルチンハ之ヲ聞キ、賊ト共ニ、カヲ極メテ、船
 ヲ地中海ニ乗出シ、賊ヲ放ツベキ場所ヲ求メタ
 リ、此際賊等ハ再ビ惡心ヲ起シ、船ヲ奪ハントセ
 シガ、船長及ビロルチンハ、更ニ怒レル色ナク、静
 カニ之ヲ取鎮ノリ、漸クニシテ、亞非利加ノ北岸

鎮静怒
漸取色

所放力
場極

流布

假令

近傍放遣
異變
端舟
仁慈
感
豪族
困難
英佛
隙
繫
起卧
赦

バルバリイノ近傍ニ着シ、直チニ賊ヲ放チ遣ラ
 ントセシガ、或ハ途中異變ノアラントヨリ恐レ、口
 ルチンハ水夫二人從僕一人ト共ニ、端舟ニ乗リ
 テ、賊ヲ上陸セシメ、賊ハ深ク其仁慈ニ感ジ
 ケルト、

○英國ノ豪族ジョンホワードハ他人ノ困難ヲ
 救フヲ以テ、事トセシ人ナリ、曾テリスボンニ航
 セシガ、是時英佛隙アルヲ以テ、ホワード忽チ佛
 人ノ手ニ捕ハレテ、ブレस्तノ獄ニ繫ガレ、石床
 ノ上ニ起卧シ、艱苦ヲ極メシガ、赦ニ逢フテ英二

十六

苛酷
政府
緩待

近隣

職業
安堵
學校

官府

健康

方策

歐洲
周流

歸リシ日、直ニ政府ニ詣リ、彼ノ苛酷ノ件々ヲ述ベ、佛ノ政府ト議シテ、互ヒニ囚虜ヲ緩待セシコトヲ建議セシニ、遂ニ其意ヲ達スルコトヲ得タリ、後カルディングトンニ住居シ、近隣ノ貧民ヲ聚メ、家ヲ與ヘ、職業ヲ教ヘ、各人ニ安堵ヲ得セシメ、又學校ヲ設ケ、児童ヲ教育シ、意ヲ其地ノ囚人ニ属シテ、國中ノ囚獄ヲ巡廻シ、官府ニ請ヒ、弊ヲ除キ、囚徒ヲシテ、健康ヲ保シ、自カラ徳ニ復セシムル等ノ、方策ヲ施セリ、猶普ク之ヲ外國ニ及サンコトヲ志シ、歐洲各國ニ周流シ、到ル所官府

遍歷
路程
都邑
疫癘
適當
懸情
傳洩
經歷

接待
改良

ニ乞フテ、悉ク其囚獄ヲ改正セリ、當時ホワードノ仁聞、天下ニ滿チタレバ、其説ニ從ハザルモノナシ、既ニ遍歷セシ路程、凡四萬二千里ナリト、地中海ノ周圍ニアル都邑、時々流行疫癘ニ困難スルモノ多シ、其病院ノ適當セザルヲ聞キ、懸情止ミ難ク、從者ノ傳洩ヲ恐レ、單身ニテ諸所ヲ經歷シ、終ニウエニスニ赴キタリ、船路海賊ニ出逢ヒシガ、鬪フテ之ヲ退ケタリ、ウエニスニ至ルヤ、病院ニ入り、數十日滯留シ、其接待方ヲ改良セシメ、夕リ日再曼帝之ヲ聞テ延見シ、厚ク禮待ヲ加ヘ、

新編

七

金像 都府 謙遜 固辭

浸染 碑建立

尊重 成就 辛苦 族人 身體

其仁且勇九ルヲ賞シ為ニ金像ヲ都府ニ立ンコトヲ議ルホワード性素ヨリ謙遜ナレバ固辭シテ止メヌ終ニ黑海濱ノゼルツンニ次リ惡疫ノ流行スルニ遇上偶窮人ノ一少女治ヲ乞ヒケレバ辭セスシテ赴キシニ不幸ニシテ浸染シ此地ニ卒シヌ魯西亞帝為ニ此地ニ碑ヲ建立セリト

第六章 敬老

○老者ハ之ヲ尊重スベシ凡ソ老者ハ能ク其生業ヲ成就シ多少ノ辛苦ニ堪ヘ族人及ビ國家ニ對スルノ務ヲ行ヒ以テ高年ニ及ビ其身體衰老

耗老 慰安

シ或ハ氣力耗老スルニ至ラバ年少子弟之ヲ敬愛シ且之ヲ慰安シテ適意ニ其一生ヲ終ラシメシコトヲ勉ムベシ

埃及 羅馬 席讓

○古今常ニ老者ヲ尊重セザル者ナク古昔埃及スパルタ羅馬等ノ國ニ於テハ最モ老者ヲ敬シ其來ル毎ニ衆人必ス席ヲ讓リ若シ年少老者ノ為ノニ席ヲ避ケザルトキハ罪アリトシテ之ヲ

謹責

謹責シタリ

嬰孺 錢財 微利 菓實

○高年ノ人事ヲ作スコト嬰孺ノ如キモノアリ錢財ノ微利ヲ得ルヲ喜ビ飲食菓實ノ小惠ヲ喜

孩兒 順適 歡 疾病 寂寞 無聊 憂鬱 勞苦 張良 誤履 墜顧 傲然

ト孩兒ト玩狎スルヲ喜ブ、子弟タル者、能ク之ヲ知リテ、其意ニ順適セバ、其歡ヲ盡スベシ、袁氏世範 ○老年ハ必シモ、疾病ノ患アルニ非サレドモ、大抵老衰シテ、寂寞無聊ニ苦シムコト、少カラズ故ニカヲ盡シテ、其憂鬱ヲ慰メ、其勞苦ヲ扶クルハ、仁惠ノコトニシテ、孝愛ノ一種ト稱スベシ、 ○漢張良トイフ人、嘗テ下邳トイフ所ノ圯上ニ遊ビシニ、一老人歩シテ良ノ所ニ來リ、誤テ履ヲ橋下ニ墜セリ、顧ミテ、良ニ謂テ曰ク、孺子下リテ、履ヲ取レト、良其傲然ナルニ驚ケドモ、老人ナル

輒跪 復還 教 諾 期 鷄鳴 孺子 一編

ガ為メ、輒チ下リテ履ヲ取リテ、跪キテ進ム、老人足ヲ以テ之ヲ受ケ、去ル一里許リ、復還リテ曰ク、孺子教ユベシ、後五日ノ平明ニ、我ト此所ニ會セント、良諾シテ、五日平明ニ至ル、老人已デニ先ニ在リ、怒曰ク、老人ト期ス、後ル、コト何ゾヤ、後五日早ク會セヨト、良鷄鳴テ往ク、老人先ニ在リ、復怒曰ク、後ル、何ゾヤ、後五日早ク來レ、良乃チ半夜ニ往ク頃、ラクアツテ、老人來リ喜デ曰ク、孺子當サニ是ノ如クスベシト、乃チ一編ノ書ヲ出シテ曰ク、是ヲ讀ノバ、則王者ノ師トナラント、遂

強楚 二去ル其書ヲ見ルニ、太公ノ兵法ナリ、良コレヲ
習ヒ、高祖ヲ佐ケテ、強楚ヲ破リ、遂ニ天下ヲ取レ
リ、

第七章 勤學

○前輩嘗テ説ク、後生才性ノ人ニ過ル者、畏ルニ
足ラズ、惟書ヲ讀ミテ、尋思推究スルモノ、畏ルベ
キノミ、多識編

○書ヲ讀ニハ、只尋思センコトヲ欲ス、蓋シ義理
ノ精深ナル、只尋思用意ヲ以テ之ヲ得ベシ、鹵莽
ニシテ、煩ヲ厭フ者、決シテ成ルコトアルノ理ナ
シ

同上

○才智ノミヲ養ヒ長スルハ、却テ人ノ害トナル
コトアリ、故ニ凡百學問ノ根本ハ、端正ナル心志
ノ田地ニ、挿ミ之ヲ修養スベシ、ヘスタロツジ氏

○無益ノ事ノミヲ知リテ、有益ナルコトヲ知ラ
ザル人ハ、是ヲ無知ノ人ト稱スベシ、チエートン氏

○學問ニ有用ノ學アリ、無用ノ學アリ、有用ノ學
トハ、學問ヲスレバ、我が為メ人ノ為メ益トナル
ヲ云フ、故ニ學問ノ道ハ、有用ノ學ヲ為スベシ、無
用ノ學ヲ為スベカラズ、大和俗訓

尋思 推究 義理 精深 鹵莽 煩厭

無用

穎異 句讀 焜耀 堅苦 衰謝 志變 瀟

○伊藤仁齋ハ、京都ノ人ナリ、家素ト賈ヲ業トセリ、仁齋幼キヨリ、穎異ニシテ群兒ニ異ナリ、其始句讀ヲ習ノ時、意既ニ儒ヲ以テ、一世ニ焜耀セント欲ス、長ズルニ及ビ、堅苦自ラ勵ム、家日ニ衰謝スト、雖氏、其志ヲ變ゼズ、終ニ大儒トナレリ、或時左右比屋カヲ恊セテ、義井ヲ瀟フ、仁齋出デ、共ニセントス、衆皆曰ク、吾等之ヲ成セバ足ル、何ゾ先生ヲ役スルコトヲセン、仁齋曰ク、敢テ義ノ辱キヲ謝セザランヤ、然リト雖氏、余此井ニ汲ム、既ニ衆ト異ナラズ、獨リ與ラザルノ理アラシヤト、

縛執 侍養

遂ニ縛ヲ執テ其勞ヲ分テリト、肥後侯祿千石ヲ以テ之ヲ招ク、辭スルニ老母ヲ侍養スル人ナキヲ以テス、其志ヲ動カサズルコト此ノ如シ、實ニ一代ノ儒宗ト稱スベシ、

貧窮 離散 學資 傭夫 勞動

○ウイリヤム、シヤクソンハ幼ニシテ孤ナリ、兄弟十餘人アリ、家貧窮ニシテ生活スルコト能ハバ皆離散セリ、シヤクソン十二歳ニシテ郷校ニアリシガ、學資ノ出ルトコロ無キヲ以テ、學ブコト能ハズ、出テ、商船ノ傭夫トナリ、曉ノ六時ヨリ夜九時ニ至ルマデ、勞動怠ラズ、偶船長病アリ

寫字 房 英國 博物 通覽 貿易 薪賣 誦 富貴

ジヤクソンヲシテ寫字房ニアツテ、事ヲ掌ラシム、是ニヨリテ、英國博物全書ヲ讀ムコトヲ得タリ、其他房中有ル所ノ書、一トシテ通覽セサルコトナシ、後貿易ヲ以テ業トシ、富一世ニ冠タルニ至リ、今ニ至ルマデジヤクソンノ商船、地球上通市セザルコトナシ、是全ク博學ノ効ナラズヤ、
○前漢朱買臣トイフ人ハ、家貧ニシテ、常ニ薪ヲ賣リテ自給シ、行クハ書ヲ誦ム、妻之ヲ耻テ、去ランコトヲ求ム、買臣曰ク、汝我ト、苦ミヲ同ジウスルコト、日久シ、我富貴トナリテ、汝ニ報スベシ、

溝中 餓死 東越 擊破 錦衣 勉學 議論 貴族 田獵 遠遊 常習 藝文 嗜好 毀笑

妻怒リ曰ク、公等ガ如キ人ハ、終ニ溝中ニ餓死スベシ、買臣留ルコト能ハズ、彼ノ去ルニ任ズ、年五十二ニシテ會計太守トナリ、東越ヲ擊破リ、錦ヲ衣テ故郷ニ還レリ、
○フルウエア、リツトンハ貴族ノ子ナレドモ、強志勉學ニシテ、議論ニ長ジ、政學ヲ善ス、凡ソ貴族子弟、或ハ田獵ヲ好ミ、或ハ遠遊ヲ事トシ、往來宴會スルヲ常習トセリ、然ルニリツトンハ意ヲ藝文ニ專ラニシテ、他ノ嗜好ナシ、始メ小説ヲ著ハセシニ、世人ノ為メニ毀笑セラルレドモ、聊カ屈

川家多事書 卷之十 世二

言蒙修身書
七不益博く書ヲ讀ミ工夫ヲ積ミ又一書ヲ著ス
陸續世人大ヒニ之ヲ稱ス是ヨリ陸續書ヲ著シ其名
顯文場ニ顯レタリト

訓蒙修身書第十終

明治十五年三月十七日版權免許
同 四月 出版發兌

徳島縣士族

元山金九鏡玉屋

編輯兼出版
福田守中

大阪府東區安土町四丁目
拾壹番地寄留

大阪府平民

製本發賣所
華井卯助

府下東區安土町四丁目
拾壹番地

訓蒙修身書

田村初太郎技閱
福田宇中編纂

十一

乙 72
388

館			
函			
架			
號			
一	三	一	一
二	號	架	八
冊			函

館 函 架 號

K/10.1
184
11